

公害と環境保全

名前 _____

_____ 月 _____ 日

現代社会

憲法

政治

経済

国際社会

これから

今日の問い

公害をどう防ぎ、環境を守る社会をどうつくってきたのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 公害の防止と環境保全

四大公害病

① 企業活動などで人の健康や環境がそこなわれること。

⑤ 水俣病・新潟水俣病・四日市ぜんそく・イタイイタイ病。

⑦ 1993年に定められた、環境保全の基本となる法律。

高度経済成長の時期、工場の排水や排煙などで人々の健康が害される ¹ _____ が各地で起こった。とくに、熊本県などの ² _____、新潟県の新潟水俣病、三重県の ³ _____、富山県の ⁴ _____ は ⁵ _____ とよばれ、被害者は裁判に訴えて、いずれも勝訴した。水俣病と新潟水俣病は化学工場の排水にふくまれる有機水銀、イタイイタイ病は鉱山から流れ出たカドミウム、四日市ぜんそくは石油化学コンビナートの排煙による大気汚染が原因である。

政府は1967年に公害対策基本法を定め、1971年に ⁶ _____ (2001年から環境省)を設けて対策を進めた。1993年には、地球環境問題にも対応する ⁷ _____ が定められた。開発の前に環境への影響を調べる ⁸ _____ (環境影響評価)も行われる。公害を出した企業が、その費用を負担する考え方を、汚染者負担の原則という。国だけでなく、地方公共団体や企業、市民団体も、それぞれの立場で環境を守る活動に取り組んでいる。

2 循環型社会

3R

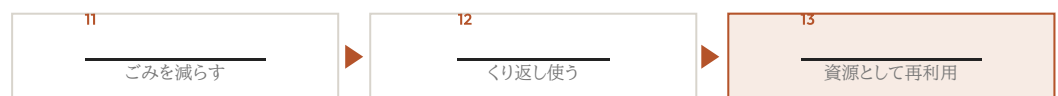
⑨ 資源をくり返し使い、ごみを減らす社会。

⑬ 使い終わった物を資源として再び利用すること。

⑪ ごみになる物を減らすこと。

大量に生産し、大量に消費して、大量にすてる社会は、資源のむだづかいやごみの増加をまねく。そこで、資源をくり返し使い、ごみを減らす ⁹ _____ をめざし、2000年に ¹⁰ _____ が定められた。家電リサイクル法や容器包装リサイクル法などもあり、資源の再利用が進められている。

取り組みの基本が三つの「R」である。ごみになる物を減らす ¹¹ _____、使い終わった物をくり返し使う ¹² _____、資源として再び利用する ¹³ _____ である。私たちも、買い物でむだを減らし、分別を守ることで、環境への負担を小さくできる。たとえば、ペットボトルやびんの回収、古紙の再利用、詰めかえ用の商品の利用などは、身近な取り組みである。ごみの量を減らすことは、ごみ処理場の不足や資源の節約にもつながる。

できた / 13